



～「笑顔・感謝・努力」を忘れない。社会に出てから役立つ「心の土台」を育てるために～

☆ 目指せ TEPPEN ☆ 待ってろ日本一!! ～ TEAM KATORI・小規模チームの挑戦 ～

「目標は勝つことすなわち日本一であり、目的は人間形成にある。」

これは、私が中学時代の部活動の部訓90ヶ条というものの、第1条に書かれていた言葉です。

中学生の私にとって、すごくセンセーショナルなものであり、すごく素直に「そうなんだ!」と思った覚えがあるし、すごく大切にしている言葉の一つです。

もうすでに25年程前の話ではありますが、今でもこの言葉自体は間違いだとは思っていません。ただ、勝つためにはそのための努力が不可欠ですし、勝つことより「勝とうとするための努力こそがすべて」だとも考えています。しかし、その「勝とうとするための努力」が、年々その子の成長につながることはばかりではないとも思うようになりました。

現代では「多様性」という言葉に代表されるように、いろんな価値観が存在します。しかし、それはともすると「何でもあり」になりがちです。「何でもあり」だからこそ、今の子どもたちは、子どもによって「経験格差」が非常に大きいです。何でもありの世の中で「何にもしてこなかった子」や「それでよい」とされてきた子と、何でもありの世の中でも、きちんと「必要なことややるべきこと」を「きちんとやってきた子」では、人間としての器の起大さや下地の出来が違います。そういった子どもたちは、同じことを言われても受け止め方が違うでしょう。言い方を変えればものの理解度が違います。

「勝とうとするための努力が大切だ。それはこういう努力だ。」と、言われて「そうなんだ」と理解できる子もいれば、いくら話をされても全く理解できない子もいるでしょう。そういう子に「勝とうとするための努力」を延々と説くのは、お互いにとってナンセンスです。そういう子は「勝負」とはほど遠い世界線にいるからです。「勝とうとするための努力がすべて」の線の上に立ち、その勝負した「結果」を真摯に受け止めて、人として成長していく。それが絶対的な正解ではないと思いますが、これから子どもたちが大人になり、厳しい社会に巣立っていく上では、正解ではなくても「必要なこと」ではあるかなと、個人的には思っています。

< 4月 > ☆ 練習計画 平日 ～ 17:30(完全下校) 休日 8:30 ～ 11:30(解散 12:00)

日	曜日	練習の有無	備 考	あと	日	曜日	練習の有無	備 考	あと
8	火	○	入学式 給食開始	102	23	水	○		87
9	水	○	避難訓練	101	24	木	○	歯科検診	86
10	木	○		100	25	金	×	PTA 総会	85
11	金	×	※齋藤研修(午後)	99	26	土	×	※東日本研修大会(菅平高原)	84
12	土	×	※精神力大会	98	27	日	×	※東日本研修大会(菅平高原)	83
13	日	×		97	28	月	×		82
14	月	×	※齋藤会議(午後)	96	29	火	×	昭和の日	81
15	火	○	全国学力学習状況調査	95	30	水	○		80
16	水	○	新入生歓迎会	94	5/1	木	○	正式入部 耳鼻科検診	79
17	木	○	全国学力学習状況調査	93	2	金	○	PTA 役員会	78
18	金	○		92	3	土	○	憲法記念日	77
19	土	○		91	4	日	×	みどりの日	76
20	日	×		90	5	月	○	こどもの日	75
21	月	×	※齋藤会議(午後)	89	6	火	×	振替休日	74
22	火	○	尿検査 仮入部開始(～30日)	88	7	水	○		73

< 緊急連絡先 >

※ 遅刻・欠席連絡を忘れずにお願いします。 ※ 遅刻の場合は遅れてもよいので保護者に頼らず自力で登校しましょう。

※ 休日練習での連絡は社会勉強、できる限り自分で電話しましょう。